

授業科目 救急蘇生法演習

【担当教員名】 桐本 光	対象学年	3	対象学科	作業
	開講時期	前期	必修選択	必修
	単位数	1	時間数	30

【カリキュラムポリシーとの関連性】

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	○	◎	◎

【概要・一般目標：G10】

呼吸循環器系の解剖生理学及び臨床医学的知識を十分に備えた上で、一般市民が行うことのできる応急救護の概念を理解し、CPR（心肺蘇生法）とAED（自動体外式除細動器）を組み合わせた応急救護法を実施できる。

【学習目標・行動目標：SBO】

1. 呼吸循環器系の解剖生理学及び臨床医学的知識を十分に備えている。
2. 精神医学領域の知識を十分に備え、救急時の対応方法について理解できる。
3. 応急救護の概念や蘇生の連鎖、感染の予防について理解できる。
4. 気道、呼吸、循環の初期の評価について理解し、実施できる。
5. 気道の確保について理解し、実施できる。
6. 効果的なCPRを実施できる。
7. AEDとその使用方法を理解し、CPRと組み合わせて実施できる。
8. 外傷の種類や程度に応じた対処法を理解し、実施できる。
9. 評価実習に臨む学生として相応しいレベルの、知識と態度を総合的に備える。

回数	授業計画・学習の主題	SBO番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	オリエンテーション、循環器系の解剖学	1	講義、担当：桐本 光
2	循環器系の生理学	1	講義、担当：桐本 光
3	循環器系の臨床医学	1	講義、担当：桐本 光
4	呼吸器系の解剖学	1	講義、担当：桐本 光
5	呼吸器系の生理学	1	講義、担当：桐本 光
6	呼吸器系の臨床医学	1	講義、担当：桐本 光
7	精神科救急とその対応 1	2	講義
8	精神科救急とその対応 2	2	講義
9	精神科救急とその対応 3	2	講義
10	応急救護法とは、蘇生の連鎖と感染の予防	3	演習、担当：桐本 光
11	気道、呼吸、循環の初期の評価、気道の確保	4, 5	演習、担当：桐本 光
12	CPR（心肺蘇生法）	6	演習、担当：桐本 光
13	AED（自動体外式除細動器）を用いた応急救護	7	演習、担当：桐本 光
14	外傷の種類や程度に応じた対処法	8	演習、担当：桐本 光
15	知識の確認	9	演習、担当：桐本 光

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)	救急蘇生法の指針 市民用・解説編 改訂3版	日本救急医療財団心肺蘇生法委員会（監修）	へるす出版	2006・1,260円
参考書				
その他の資料				

【評価方法】

小テスト、定期試験により評価する。

【履修上の留意点】

1. 演習は2グループに分かれ、9/3または9/4にG410多目的ルームにて集中講義形式で実施する。
2. 演習にはユニフォームを着用し、実習施設で学ぶ者として相応しい身だしなみで参加する（装飾品の着用厳禁）。